

2. 節約になるから
3. 家族がやっているから
4. 一人暮らしや結婚、退職など、ライフステージが変わったから
5. インターネットやテレビ、SNS等を見たから
6. 学校で勉強した、または、子どもが学校で勉強してきたから
7. 友人や近所の方が、取り組んでいたから
8. 講演会・勉強会等に参加したから
9. その他（具体的に： _____)

Q4. <地球温暖化対策に取り組む際の情報>

地球温暖化対策に取り組む際に、どのような情報があると分かりやすい、取り組みやすいと思いますか。（複数選択）

1. 温室効果ガス（CO₂等）の排出量の目標
2. エネルギー（電気・ガス等）の消費量の目標
3. 大阪市の地球温暖化対策のビジョン（大阪の成長につながる脱炭素社会「ゼロカーボン おおさか」）の提示
4. 具体的な地球温暖化対策の取組み（省エネ行動等）に関する目標とその効果（CO₂削減効果・節約効果等）の提示
5. 地球温暖化による気候変動の影響と将来予測などの情報
6. その他（具体的に _____)

Q5. <大阪市の地球温暖化対策>

地球温暖化対策として、大阪市はどのようなことに優先的に取り組むべきだと思いますか。あてはまるものを3つまでお選びください。

1. 太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入を促進する。
2. 水素など新たなエネルギーの活用を進める。
3. EV（電気自動車）やFCV（燃料電池自動車）の普及を拡大する。
4. 地球温暖化対策に資する国民運動「COOL CHOICE（賢い選択）」を推進する。
5. 脱炭素マインドを醸成する環境教育・普及啓発を推進する。
6. 遮熱・断熱仕様等の導入など、省エネ性能の高い建築物の普及を拡大する。
7. 事業活動の脱炭素化に向けた事業者の自主的な取組みを促進する。
8. 市役所等公共施設において省エネ化や再生可能エネルギーの導入を拡大する。
9. 地域特性を活かした環境技術の実装された脱炭素型のまちづくりに取り組む。
10. 公共交通機関や徒歩・自転車等の移動が便利なまちづくりを進める。
11. 食品ロス対策やプラスチックごみの削減など、省資源と資源循環を促進する。
12. 緑化を推進する。また、国産木材の利用を促進する
13. 地球温暖化対策に関するビジネスの活性化を進める。
14. 海外の都市との連携等により国際的な地球温暖化対策に貢献する。
15. その他（具体的に _____)

Q 6. <気候変動への適応の認知度>

気候変動への「適応(*)」についてお伺いします。あなたは「適応」という言葉を知っていますか。

1. 意味も含めて知っていた。
2. 言葉は知っているが、意味は知らなかった。
3. 言葉自体を知らなかった。

(*)「適応」とは

地球温暖化対策として、温室効果ガスの排出を抑制する取組(「緩和」)を進めたうえで、それでも現在生じている、又は将来の発生が予測される気候変動の影響に対して、その被害を回避し、又は軽減する取組のこと。例えば、自然災害への備え(浸水対策)や熱中症対策も「適応」の取組です。

(2) ヒートアイランド対策について

Q 7. <ヒートアイランド現象の認知度>

あなたは、『ヒートアイランド現象(*)』という言葉や内容を知っていますか。もっとも近いものを1つお選びください。

1. 言葉も内容も知っていた
2. 言葉は知っていたが、内容は知らなかった
3. 内容は知っていたが、言葉は知らなかった
4. 言葉も内容も知らなかった

(*) ヒートアイランド現象

都市部の気温が郊外と比較して高くなる現象。

都市部でのエネルギー消費に伴う排熱の増加や緑地の現象、高層ビルなどによる通風の阻害、道路がアスファルトやコンクリートで固められていることなどから、地表面からの水分蒸発が少なくなるなどによって起きます。

Q 8. <ヒートアイランド現象のイメージ>

「ヒートアイランド現象」について、あなたが生活していくうえで感じることは何ですか。あてはまるものを3つまでお選びください。

1. 街なか暑く、日中に出歩きにくい
2. 夜が暑く、夜中に寝苦しい
3. 体調管理しにくく、また熱中症などが心配である
4. 暑さによりエアコンの使用頻度が多くなり、電気代が高くなる
5. 局所的な集中豪雨による浸水被害などが心配である
6. その他(具体的に: _____)
7. あてはまるものはない(複数選択不可)

Q9. <ヒートアイランド対策の取組>

ヒートアイランド対策の取組として、次にあげるものがあります。

あなたが取り組んでいるものをすべてお選びください。

1. 緑のカーテン（*1）、よしずによる日差しの遮断
2. 打ち水（*2）、ドライミストなど水を活用
3. 公共交通機関の積極的な利用
4. エコカー（*3）の使用
5. エコドライブ（*4）の実施
6. 省エネ家電（テレビ、冷蔵庫、エアコン等）の使用
7. LED電球などの高効率照明の使用
8. 見える化機器・HEMS（*5）の使用
9. 高効率給湯器（エコキュート、エコジョーズなど）（*6）の設置
10. 家庭用コージェネレーションシステム（エコウィル、エネファームなど）（*7）の設置
11. 太陽光発電設備（*8）の設置
12. 太陽熱温水器（*9）の設置
13. 緑化、高反射率塗装などによる建物表面の高温化の防止
14. 建物の断熱化（複層ガラス、内窓、断熱壁など）
15. その他（具体的に： _____)
16. 取り組んでいない（複数選択不可）

（*1）緑のカーテン

緑のカーテンは、建物の窓際や壁、屋上をゴーヤやアサガオなどのツル性の植物でカーテンのように覆い、夏の日差しを遮るものです。

（*2）打ち水

草花や木への水やり等も含めて、夏場に水をまく行為をいいます。

（*3）エコカー

電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車、ハイブリッド自動車、クリーンディーゼル自動車、天然ガス自動車、低燃費かつ低排出ガス認定車のことをいいます。

（*4）エコドライブ

無用なアイドリングをしない、無用な空ぶかしをしない、急発進及び急加速をしない等、環境負荷の軽減に配慮した自動車の使用のことをいいます。

（*5）見える化機器・HEMS

リアルタイムで家庭内の電気使用量や個別の家電製品等の使用状況がわかる機器です。家庭での適切なエネルギーの需給状況を生活にあわせて調節・制御してくれるシステムを併せ持つものを、特にHEMSといいます。

（*6）高効率給湯器（エコキュート、エコジョーズなど）

従来の機器に比べて少ないエネルギーでお湯を沸かすことのできる給湯器です。空気の熱を利用してお湯を沸かすヒートポンプ給湯器（エコキュート）や、従来は大気中に捨てていた熱エネルギーを利用する潜熱回収型給湯器（エコジョーズ）などがあります。

（*7）家庭用コージェネレーションシステム（エコウィル、エネファームなど）

エンジンや燃料電池で発電し、そのとき出る熱でお湯を沸かしたり暖房に利用できるコージェネレーション（熱電併給）システムです。ご家庭の電気、給湯、暖房をまかなうことができます。

（* 8）太陽光発電設備

太陽電池により太陽の光エネルギーを電気にかえます。比較的設置しやすいため、再生可能エネルギーの中で現在最も普及しているといわれています。

（* 9）太陽熱温水器

太陽の熱をソーラーパネルで集め、そこに水を通して温水にします。昔から使われている太陽熱利用機器です。

Q10. <打ち水の実施状況>

個人でできる身近なヒートアイランド対策のひとつに『打ち水』がありますが、あなたは、夏場に『打ち水』（草花や木への水やり等も含めて、夏場に水をまく行為）を行っていますか。もっとも近いものを1つお選びください。

1. 毎年行っている
2. 毎年ではないが行っている
3. 以前は行っていたが、いまは行っていない
4. 行いたい、実施できる環境がない
5. 意識がなく、全く行っていない

Q11. <緑のカーテン・カーペットづくりの実施状況>

『打ち水』のほか、身近なヒートアイランド対策のひとつに『緑のカーテン・カーペット（*）』づくりがありますが、あなたは夏場『緑のカーテン・カーペット』づくりに取り組んでいますか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 緑のカーテン・カーペットづくりのいずれか1つでも取り組んでいる
2. 以前は取り組んでいたが、今は取り組んでいない
3. 取り組んでみたいが、取り組める環境がない
4. 取り組んでいないし、これからも取り組むつもりはない

（*）緑のカーテン・カーペット

緑のカーテンは、建物の窓際や壁、屋上をゴーヤやアサガオなどのツル性の植物でカーテンのように覆い、夏の日差しを遮るものです。また、緑のカーペットは、サツマイモなどの葉で屋上をカーペットのように覆い、日差しを遮るものです。

Q12. <緑のカーテン・カーペットに関する情報>

あなたはどこで緑のカーテン・カーペットを知りましたか。あてはまるものをすべてお選びください。（複数選択）

1. チラシ・リーフレット
2. 区の広報紙
3. 大阪市ホームページ
4. なにわエコスタイル（大阪市が運営する環境学習情報発信サイト）
5. SNS（Twitter・Facebook・Instagram等）

さい。(複数選択)

1. 大阪市の開催する環境学習講座
2. 大阪市関連施設でのイベント、展示等
3. リーフレット、冊子
4. 大阪市ホームページ
5. なにわエコスタイル(大阪市が運営する環境学習情報発信サイト)
6. SNS(Twitter・Facebook・Instagram等)
7. テレビ、新聞、雑誌
8. 家族、友人、知人
9. その他(具体的に:)

Q16. <生物多様性の恵み>

あなたは日々の暮らしの中で、自然や生き物(*)を身近に感じますか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 感じる
2. 感じない(⇒Q18へ)
3. わからない(⇒Q18へ)

(*) 生き物

動物や植物等の命があるものすべてをいいます。

Q17. <自然や生き物を身近に感じる時>

Q16で「1」を回答された方にお聞きします。

あなたは日々の暮らしの中で、どのような場所で自然や生き物を身近に感じますか。あてはまるものをすべてお選びください。(複数選択)

1. 公園
2. 道路
3. 寺・神社
4. 川辺
5. 建物(寺、神社、学校を除く)
6. 海辺
7. 学校
8. その他(具体的に:)

Q18. <生物多様性保全に貢献する取組>

生物多様性を保全し、自然と共生していくためには、一人ひとりの行動も重要です。あなたが現在実行していることはありますか。あてはまるものをすべてお選びください。

1. 地産地消を心がけ、旬の食材や自分が住んでいる地域でとれたものを食べる
2. 食品ロスなどの無駄な消費をなくすように心がける
3. 省エネなど地球温暖化防止に配慮したライフスタイルを心がける
4. 生物多様性に配慮した認証製品(*1)や生物多様性保全に貢献している企業の商品やサービス

